

令和6年戸田市議会年間活動成果

政策立案・政策提言：提言書4件 議会改革：議会におけるデータ活用についてなど計5件

区分	委員会名	年間活動テーマ等	年間活動成果	概要
政策立案・政策提言	総務常任委員会	能登半島地震を受けての避難所運営の在り方について	<p>・能登半島地震における避難所運営の状況を調査するとともに、過去に被災して長期的な避難所運営を行った自治体への視察を通して、避難所運営の課題やその改善策等について調査を行った。また、過去に執行部へ提出した避難所運営に関する提言内容の検証を行った。これらを基に避難所運営の在り方等に関する提言書をまとめ、執行部へ提出した(令和6年12月)</p>	<p>提言事項は以下のとおり。</p> <p>1. 過去の提言内容の検証を踏まえた新たな提言について</p> <p>(1) 備蓄品の保管場所の見直しをすること</p> <p>(2) 在庫管理を徹底すること</p> <p>(3) プライバシー確保ができるための備品を整備すること</p> <p>(4) 地震と風水害における避難行動の違いについて周知を徹底すること</p> <p>2. 避難所運営等に関する提言について</p> <p>(1) 男女共同参画の視点を避難所運営に反映させること</p> <p>(2) 多様な人材が避難所運営に参画できるようにすること</p> <p>(3) 避難者からのニーズに対応できる仕組みを構築すること</p> <p>(4) 暑さ・寒さ対策を徹底すること</p> <p>(5) スムーズな避難所開設に向けた訓練を充実させること</p> <p>(6) 仮設住宅の確保に向けた対策を進めること</p> <p>(7) 指定避難所以外の避難者の状況把握及び支援ができる体制を構築すること</p> <p>(8) 市民一人一人が事情や状況に応じて在宅避難等も選択できるよう、啓発や支援を充実させること</p>
	文教・建設常任委員会	特色ある学校づくりについて	<p>・執行部から説明を受け、戸田南小学校及び新曽中学校への市内視察をするとともに、東京都武蔵野市、東京都目黒区、愛知県東浦町及び新潟県妙高市といった特色ある学校づくりを行っている先進事例を視察し、それを基に、調査報告書をまとめ執行部へ提出(令和6年12月)</p>	<p>調査報告事項は以下のとおり</p> <p>(1) 武蔵野市民科(東京都武蔵野市)</p> <p>(2) 40分授業午前5時間制(東京都目黒区)</p> <p>(3) 約半世紀前から続く個別最適な学び(愛知県東浦町)</p> <p>(4) 妙高型イェナプラン教育(新潟県妙高市)</p>

区分	委員会名	年間活動テーマ等	年間活動成果	概要
政策立案・政策提言	健康福祉常任委員会	障害福祉を施策展開するために～差別解消、合理的配慮、就労強化を目指して～	<p>・令和6年4月、「戸田市障がい理由とする差別のない共生社会づくり条例」が施行された。条例を制定するだけでなく、実効性のある施策を展開してもらいたいと考え、重要な課題である「差別解消」「合理的配慮」「就労強化」の推進について、障害者施設の現場や先進自治体の取組を視察し、事例研究を行った。本市に必要とされる取組について、提言をまとめ執行部へ提出した。 (令和6年12月)</p>	<p>提言事項は以下のとおり</p> <p>(1) 障害理解を促進する場づくりと市民全体の意識調査を ① 障害当事者や各種イベント担当者に、障害者の認知度を高める企画を促し、障害者の参画を促すこと。 ② 認知度を高める取組後は、障害者だけでなく市民全体の意識を調査し、効果検証を行うこと。 (2) 合理的配慮を推進するための施策の実施を ① 市内事業者のバリアフリー状況について実態調査を進める一方、障害当事者の利用の現状も調査し、ニーズの把握に努めること。 ② 既存の補助事業の周知を行うとともに、既存の補助事業の範囲に含まれていない合理的配慮を推進するための補助事業を展開し、市内事業者を支援すること。また、補助事業実施後に効果検証を行うこと。 (3) 市における障害者雇用及び業務委託の更なる推進を ① どんな種別の障害者であっても、その就労の妨げにならないよう、市役所の未整備箇所を洗いだし、整備を計画的に進めること。雇用後も支援を進め、高い職場定着率を維持すること。 ② 障害者就労施設等からの物品等の調達を拡大するだけでなく、市役所等の公共施設に関連する業務委託においても障害者就労を積極的に受け入れること。 (4) 就労強化への取組、就労推進部会の更なる活性化を ① 障害者就労の現状を確認するために実態調査(相談、就労、定着等)を行い、その結果を市ホームページに掲載すること。 ② 障害者雇用に関する求人情報を、市役所内のハローワークでも取り扱うこと。 ③ 障害者就労の計画、実施、効果検証にむけ、障害者就労推進部会を活用、必要な施策には予算措置を行い取組を進めること。 (5) 仕事の選択肢・幅を増やすために、産・官・学・福連携を ① 市は、戸田かけはし高等特別支援学校、市内就労支援事業所、及び新たに障害者雇用を創出し、好事例を展開している民間事業者と連携し、就労支援の選択肢を増やす取組を展開すること。</p>
	市民生活常任委員会	文化・スポーツ施策について	<p>・戸田市スポーツセンターの建て替えによる再整備事業が決定された。このことから、先進自治体の視察をはじめ、基本構想策定業務担当者からのヒアリングなどを通して、これからのスポーツ施設の在り方や民間活力の手法などについて調査研究を行い、再整備に向けての提言書を執行部へ提出した。 (令和6年12月)</p>	<p>提言事項は以下のとおり</p> <p>(1) 将来ビジョンに基づく「コンセプト」の明確化 ① コンセプトが明確でわかりやすい複合施設にすること (2) 民間活力の導入 ① 民間のノウハウを活用した再整備事業を進めること ② 長期的な視点で事業期間の設定を (3) 市民ニーズの集約・反映 ① 市民ニーズの把握に努め、外部の専門的な視点を取り入れること (4) 誰もが集えるにぎわい創出の拠点に ① スポーツをする人もしない人も気軽に集える拠点に ② 駅からアクセスしやすく地域に開かれた施設に (5) 防災機能の強化 ① 避難所機能の充実を図り、災害時を想定した仕様とすること ② 平時の利用が災害時に生きる工夫を</p>

区分	委員会名	年間活動テーマ等	年間活動成果	概要
議会改革		議会におけるデータ活用について	・データ活用の意義や手法などについて調査研究を行い、議会全体での研修会を実施した(令和6年12月)	政策提言機能の向上等のため、統計データや市民意識調査などの各種アンケート結果の活用のほか、テキストマイニングによる一般質問の発言内容と総合振興計画の関連性の調査など、議会アドバイザーの協力をいただきながら、様々な角度で研究を行った。また、これらの調査研究の結果について、議会全体に波及させるため、全議員を対象としたデータ活用の研修会を実施した。
		議員報酬等の見直しについて	・議員報酬について、市長に対して特別職報酬等審議会の開催を要望することについて協議を行った(令和6年5月) ・特別職報酬等審議会の答申等を踏まえ、適正な議員定数について協議を行った(令和6年9月)	<p>【議員報酬について】</p> <p>議員報酬は平成6年に改訂されて以来、約30年間変わらずに現在に至っていることなどから、議員報酬の見直しの協議を行った。協議の中で、議員報酬については、市民目線で客観的な視点をもって判断する必要があることから、市長に対して特別職報酬等審議会の開催を要望してはという意見があった。一方で、市民の理解が得られるよう、様々な角度から協議をすべきであるが、十分な協議ができていないことから、要望書の提出は拙速であり、賛同できないという反対意見があった。その後も協議を進めたが、全員の意見が一致するには至らなかったことから、これらの賛成、反対意見も踏まえ、議会運営委員会において協議するよう依頼することを決定した。なお、議会運営委員会において、市長に対して特別職報酬等審議会の開催を要望することが多数決により決定し、要望書を提出した。</p> <p>【議員定数について】</p> <p>議員定数の見直しについて、議会改革特別委員会で協議を進めてきたほか、特別職報酬等審議会の答申において、付記事項として「議員定数の削減も含めた適正な議員定数について、市議会において検討すべき」との意見があったことも踏まえ、適正な議員定数について、協議を行った。協議の中で、現状維持や削減といった意見のほか、そもそも本市議会はどうあるべきかといった本質的なところから考えたうえで、必要な定数について議論すべきといった意見などが出された。このように、適正な議員定数について様々な意見が出されたが、意見の一致には至らなかった。しかしながら、次回の戸田市議会議員一般選挙が令和7年1月に控えていることを踏まえ、今期の当委員会としての協議は一旦終えることとし、議会運営委員会に協議内容を報告した。</p>
	議会改革特別委員会	政務活動費の見直しについて	・政務活動費における宿泊料について、特別な事情があり、議長が特に認めた場合に限り上限額を超えて充てることができる例外規定を設けた(令和6年6月)	政務活動費を充てることができる経費の範囲については、条例及び細則に規定されているほか、運用指針を定めている。経費のうち宿泊料については、14,000円以内と規定されているが、全国都市問題会議といった多くの議会が出席する会議等の場合、近隣の宿泊施設の宿泊料が大変高騰するほか、昨今の物価高騰等の影響により、全国的にも宿泊料が上昇していることから、宿泊料の上限額について見直しを行った。宿泊料は、今後どのように変動していくか予測することが困難であるという意見や、政務活動費の原資は税金であり、一定の基準は必要であるという意見があったほか、市職員の旅費に関する規定において、特別な事情があった場合等における例外規定が設けられていることなどを踏まえ、政務活動費における宿泊料の上限額は現状通り14,000円とし、特別な事情があり、議長が特に認めた場合に限り上限額を超えて充てることができる、という例外規定を設けることとし、「戸田市議会政務活動費を充てることができる経費に関する細則」及び「政務活動費の運用指針」を改正した。

区分	委員会名	年間活動テーマ等	年間活動成果	概要
議会改革		グループウェアの導入について	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における効率的な情報共有及び平時における連絡調整等で活用できるツールとして、LINE WORKSを導入した(令和6年8月) 	<p>情報共有におけるICT活用が課題となっていたほか、戸田市議会DCPの策定について協議した際、災害時の情報共有のツールを導入していきたいという意見があったことを踏まえ、災害時だけでなく、平時から活用できるグループウェアの導入について検討を行った。</p> <p>検討の結果、LINEと同じような感覚で使用できて導入のハードルが低く、必要十分な機能を備えているLINE WORKSを導入することについて意見がまとまった。</p> <p>また、議会改革特別委員会において試験運用を行い、災害時における安否報告や被害状況報告についてのテストを実施したところ、事務の効率化につながったことが確認できたことなどから、令和6年8月から議会全体での導入を行った。</p>
		服装の自由化に伴う議員バッジの在り方等について	<ul style="list-style-type: none"> ・3Dプリンターを活用した議員用名札を作成することとした。(令和6年12月) 	<p>令和5年12月から議会における服装の自由化が始まり、スーツを着ない場合がでてくることで、議員バッジを着用しないケースが増えることが想定されることや、議員であることが市民により分かりやすくなるよう、議員バッジに代わるものを検討してはということで、議員用名札の作成について協議した。</p> <p>協議の結果、本市ならではの特徴を出すため、一般的なプラスチックカードではなく、市内で3Dプリンターを扱っている企業と連携し、議員バッジを付けることができる名札を作成することとした。</p>